

肺に発生する癌の病理細胞学的研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2015年1月19日～2025年3月31日

〔研究課題〕

ALK融合遺伝子またはEGFR遺伝子変異を有する肺癌の病理組織学的、細胞学的検討

肺に発生する癌の治療では、ALK融合遺伝子やEGFR遺伝子変異などの遺伝子変異の検索が重要となります。遺伝子変異の検索を行うことで、有用な治療薬を選択することが可能となります。今回、これらの遺伝子変異を伴う肺癌の特徴的な組織像や細胞像を調べます。

〔研究意義〕

ALK融合遺伝子やEGFR遺伝子変異を有する肺癌の特徴的な組織像、細胞像、性状を調べます。これにより、遺伝子変異を伴う肺癌をより正確に見つけることが可能となり、治療薬が使用できる機会を増やします。

〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属病院にて1992年から2020年までの間に採取された肺癌検体の病理組織標本・細胞診標本を用います。そして、それらの癌の顕微鏡的所見や免疫組織化学的所見を調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は匿名化し、漏洩のない様に厳重に管理します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：臨床検査学科 助教 宮田 佳奈

研究分担者：臨床検査学科 教授 望月 眞

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 帝京大学医療技術学部臨床検査学科

TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 44555]